

このガイドブックのねらい

この小児救急ガイドブックは、お子さんが病気になったりケガをした時の自宅での対応を記載するとともに、急いで医療機関での受診が必要かどうかの判断をする際に、保護者の皆様に役立てていただくため、作成いたしました。

小児救急医療は少ない小児科医で行っております。子どもたちが安心して受診できる小児救急医療体制を維持するためにも、このガイドブックを利用して適切な救急受診をお考え下さい。また、受診の遅れのないようにしてください。

このガイドブックは、お子さんの病気やケガの状況に応じて、

- 様子を見たらうで、かかりつけ医や最寄りの病院等の診療時間まで待って受診すればいい程度なのか
- 医療機関ですぐに受診した方がいいのか
- 救急車を呼んだ方がいいのか

を判断するための目安をわかりやすくまとめたものです。

このガイドブックを上手にご利用いただくために、先ずは一読して下さい。また、普段からお子さんの平熱や顔色、体調、おしっこやウンチの状態などを知っておきましょう。

目次

夜間休日急病診療所	3
休日急患歯科診療	4
保健福祉センター案内図	5
休日当番医	7
上手なお医者さんのかかり方	8
小児救急医療体制の大まかな流れ	9
初期（一次）救急体系図	10

救急マニュアル

I. 病気編

38. 0℃以上の熱が出たとき	11
ひんぱんに吐くとき	13
下痢をしたとき	15
お腹がいたいとき	17
けいれんをおこしたとき	19
発疹が出たとき（かゆみがある）	21
（熱がある）	22
咳きこみが強い、ゼイゼイするとき	23
熱中症になったとき	25

II. 事故編

頭を打ったとき	27
誤飲・誤食をしたとき	29
やけどをしたとき	33
鼻血が出たとき	35
骨折の可能性があるとき	36

～ひとつでも多くの命を救うために～

市の公共施設・コンビニエンスストア等に AED があります…	37
救命講習のご案内	38
お子さんの症状で不安を感じたら	40